

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		ゆうき図書館運営管理事業						予算事業名		市民情報センター・ゆうき図書館管理運営経			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	図書館法				
			10	05	05	0501	経常経費						
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文						事業の区分	主要事業				
		4-2生涯を通じてともに学べる環境づくり（生涯学習・地域教育・											
		②地域教育体制の充実						担当課係等	生涯学習課				
2図書館サービス網の充実						生涯学習係							
事業期間		継続（平成16年度～令和 3年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
市民の知的要求に応えるため、図書資料の充実と、郷土に関する資料の収集・保管・伝承を図るとともに、市民が快適に利用できる図書館の管理運営を行う。							平成16年に、ゆうき図書館が設置、開館した						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
・子育て・ビジネス・行政支援等、地域の諸活動を支援するべく、情報収集・提供を行う。 ・図書館業務・サービス向上に資する職員研修を実施する。 ・職業体験学習、図書館ボランティア活動の場を提供する。 ・子供達の読書活動を推進する自主事業を展開する。 ・ゆうき図書館の施設・設備の利活用を促進し、利用者の市民活動を支援する。							市民及びゆうき図書館						
							【事業をとりまく環境の変化】						
							開館当初は、市が直接、管理運営を行っていたが、平成29年度から指定管理者制度が導入され、結城市文化スポーツ振興事業団が、結城市民情報センターと一体として、管理運営を行うようになった。						
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】					
・図書館協議会の開催 ・職員研修 ・生涯学習の支援・推進 ・読書活動の推進 ・としょかんたんけんツアー・子ども司書養成講座の開催				・図書館協議会の開催 ・職員研修 ・生涯学習の支援・推進 ・読書活動の推進 ・としょかんたんけんツアー・子ども司書養成講座の開催				・図書館協議会の開催 ・職員研修 ・生涯学習の支援・推進 ・読書活動の推進 ・としょかんたんけんツアー・子ども司書養成講座の開催					
■事業費													
			R01年度		R02年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	12	24						
歳入計（千円）			12		24								
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）		金額（千円）		金額（千円）								
	01 報酬		12		24								
歳出計（千円）（A）			12		24								
伸び率（％）					100.00								
備 考	総合計画120ページ 予算書182ページ												
	※平成29年度より文化施設管理運営事業費（市民情報センター）を含む												

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	図書館来館者数	人	目標	170,000.00	120,000.00	120,000.00
			実績	163,258.00	0.00	0.00
	利用登録者数	人	目標	36,200.00	37,500.00	38,700.00
			実績	36,370.00	0.00	0.00
成果 指標	年間貸出者数	人	目標	64,000.00	45,000.00	50,000.00
			実績	64,552.00	0.00	0.00
	年間貸出冊数	人	目標	194,000.00	135,000.00	140,000.00
			実績	198,083.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	図書館は地域の教育的・文化的基盤であり、市民からも図書館設置・運営の要望は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市民情報センターと一体的な利活用を行うため指定管理者制度を導入し、事業団を指定管理者として、管理運営を委託した。
	手段の妥当性	A 妥当である	事業団は、図書館運営の専門知識を有しており、市民情報センターと一体として管理運営を行うことは、経費削減を図るうえでも妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	図書館としての一定の水準を維持するために、図書資料の新規購入に費用がかかることはやむを得ない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	図書館は誰でも自由に利用でき、利用登録者に制限を設けておらず、偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	近年、図書館の来館者数や利用登録者数は、ほぼ横ばい状態である。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	地域の教育的・文化的基盤として機能している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
図書館における直接サービス（資料の閲覧・貸出・相互利用等）及び間接サービス（資料収集・保存等）は、ともに順調に実施できているが、施設のハード面においては、経年劣化により設備の不具合が発生するなど、今後の改修が課題である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
図書館の利用者数が伸び悩んでいるため、魅力的な事業展開を検討していく。また、開館後16年が経過し、設備の老朽化が進んでいるため、計画的な改修が必要である。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 老朽化した施設や設備の計画的な改修を実施し、快適な図書館利用を維持していく。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	